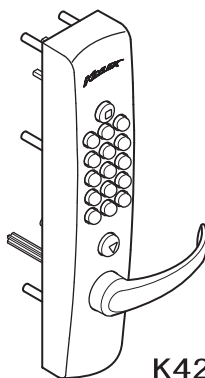
7261500

KL4000
レバー自動施錠
シリンダー切替タイプ

取扱説明書　（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。

キーレックス 4000 Prime シリーズ 保証書

お買い上げ日から１年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。
但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する
故障、又は 本証のお買い上げ日 及び 販売店名の欄に記入がない場合は、
保証期間内でも有料修理になります。

機種名：キーレックス 4000 Prime　K423C, K423CM, K423CD

お買い上げ日：　年　月　日　保証期間：お買い上げ日より１年間

販売店
住所・店名

品質ロット No.	検印

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社　長沢製作所

東京支店　TEL. 03-5383-1811（代）
FAX. 03-5967-3103

大阪支店　TEL. 06-6783-5091（代）
FAX. 06-6783-5092

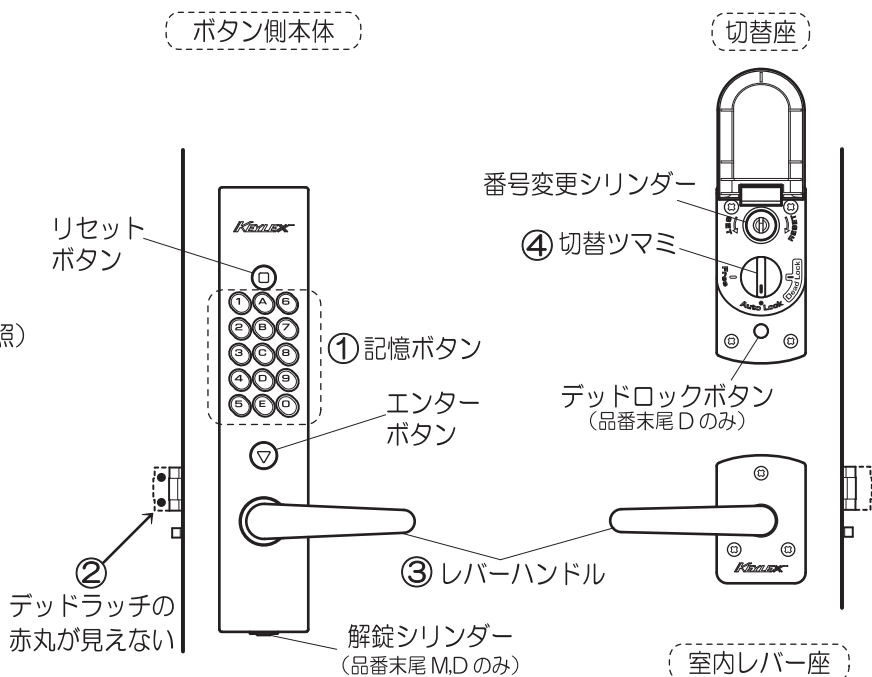
福岡出張所　TEL. 092-524-7031（代）
FAX. 092-524-7032

基本操作

ご使用前に確認してください

① 登録している記憶番号
② 錠のデッドラッチの赤丸が見えない
（見えている場合は、レバーハンドルを操作して、デッドラッチを正常位置に戻す）
③ レバーハンドルが真横になっている
（真横になっていない場合は、4ページのレバーハンドルの位置が正常でない時 を参照）

※ 鍵付タイプ（品番末尾 M,D）の場合は記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも開扉できます
Ⅰ：キーをシリンダーに入れ回す
（デッドラッチのみが引き込まれる）
Ⅱ：キーを回したまま（戻さずに）、レバーを引いて（外開き時）開扉する

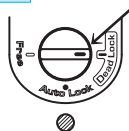
※ 本図は右吊元仕様（左吊元時は対称）

④ 切替ツマミの位置で室外側からの施解錠方法が替わります。室内側からは、切替ツマミの位置にかかわらずレバーハンドル操作で解錠できます。

Auto Lock 自動施錠

確認：室内側 切替座の切替ツマミが【Auto Lock】位置（工場出荷時設定位置）。
扉を閉めると自動で施錠され、室外側からは記憶ボタン操作かキー操作で解錠します。

Free 空錠

確認：室内側 切替座の切替ツマミが【Free】位置。
扉を閉めても自動で施錠されません。室内外ともレバーハンドル操作で開扉できます。

Dead Lock デッドロック

確認：室内側 切替座の切替ツマミが【Dead Lock】位置。
デッドロックボタンが付いているキーレックスだけの機能です。
扉を閉めると自動で施錠され、室外側からはキー操作のみで解錠できます。記憶ボタンによる解錠機能を【使用不可能】にすることで、解錠できる人員を限定でき出入りを制限したい場所などに有効です。

⚠ 室外側からはキーがないと解錠できませんので、デッドロック時は必ずキーをお持ちください。

室内側	Auto Lock 室外側 自動施錠	Free 室外側 空錠	Dead Lock 室外側 デッドロック
① レバー操作で解錠	①～④の操作で解錠できます ① リセットボタン（誤操作の記憶番号を解除） ② 現在の記憶番号 ③ エンターボタン（正しい記憶番号を押すと押されたまま止まる） ④ レバー操作（エンターボタンは元の位置に戻る） ⚠ エンターボタンを押したままレバー操作をしない	① レバー操作で解錠	① キー操作で解錠 ① キーを回したままレバーを引いて（外開き時）開扉する

※ 本図は右吊元仕様（左吊元時は対称）

記憶番号の変更方法

扉に取り付けたままで記憶番号の変更ができます

【記憶番号　変更方法】扉を開けた状態で操作します

①リセットボタンを押します

②番号変更シリンダーにキーを入れRESET方向に90度回し、元の位置まで戻してキーを抜く

③リセットボタンを押します

④エンターボタンを押します

⑤レバー操作でデッドラッチが引き込まれることを確認する

⑥リセットボタンを押します

⑦設定する記憶番号を押します

⑧番号変更シリンダーにキーを入れSET方向に90度回し、元の位置まで戻してキーを抜く

⑨室外側 自動施錠の解錠操作（2ページ下欄）で設定を確認する

※ 本図は右吊元仕様（左吊元時は対称）

【空錠】への切替方法

①リセットボタンを押します

②現在の記憶番号を押します

③エンターボタンを押します

④レバーハンドルを下げたまま（デッドラッチが引き込まれる）

⑤室内側の切替ツマミをFreeに合わせます

※ 本図は右吊元仕様（左吊元時は対称）

【空錠】Freeから【自動施錠】Auto Lockへは、室外側のレバーを下げたまま、室内側の切替ツマミをAuto Lockに合わせます。

【デッドロック】への切替方法

① デッドロックボタンを押しながら

② 切替ツマミをDead Lockに合わせます

【デッドロック】Dead Lockから【自動施錠】Auto Lockへは切替ツマミをAuto Lockへ回す（デッドロックボタンは押さない）

13.06.03

レバーハンドルの位置が正常でない時

レバーハンドルの位置が、下図になった時は、正常な位置に戻します。

レバーハンドルに『こじ開け防止・安全装置機能』がついています。記憶ボタン操作をせず強引にレバーハンドル操作をすると内部機構保護のため安全装置が作動し、レバーハンドルが空転して、下（上）位置でとまります。故障ではありません。

本図は右吊元仕様（左吊元は対称）

記憶番号設定に関するご注意

● KL4000は1～15桁まで任意の記憶番号（組み合せ：32,768通り）を設定できます。

● ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。
例）記憶番号　1·2·3　の場合
1·2·3　と押しても　2·3·1　3·1·2　1·3·2　と押しても解錠できます。

● 1つのボタンにつき設定は1回だけです。　（同じボタンを2度押しする設定はできません）
例）1·1·2·3　や　1·2·2·3　の設定はできません。

注意　危険防止の為に以下をお読みください

■ 取付ねじのゆるみ
● 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。

■ 受座の飛び出し
● 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。

■ 他の用途への使用
● レバーハンドルにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。

◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
● 製品の分解、改造はしないでください。
● デッドラッチを突出させた状態で扉を閉めないでください。
● エンターボタンを押しながら、レバーハンドルの操作をしないでください。

◆ 永くご使用頂くために
● 錠ケースへの潤滑剤使用はさけてください。
● 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。
汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの納まりや開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。